

西条市「地方再生コンパクトシティ」構築に向けた計画概要

【テーマ】食と再生可能エネルギー『100%自活』、アウトドア等、地域資源を活用した官民連携による地域活性化

【概要】都市のコンパクト化を目指した西条市立地適正化計画に基づき市街地整備を進める中で、東京大学 隈研吾研究室がマスタープランを手掛けた民間まちづくり「糸プロジェクト」の動きも踏まえた、都市計画道路や緑地整備を行うとともに、地域おこし協力隊制度を活用した「ローカルベンチャー誘致・育成事業」、石鎚山ハイウェイオアシスのアウトドア活動拠点施設としてのリニューアル事業等とも連携を図ることにより、食やアウトドアなど官民連携による地域資源を活用した取り組みにより、中心市街地はじめ市域全体の回遊性が向上するとともに、地域内での稼ぐ力、人材確保・育成など、地域活性化に繋がる新たなコンパクトシティモデルを構築する。

地方再生C.C.地区概要

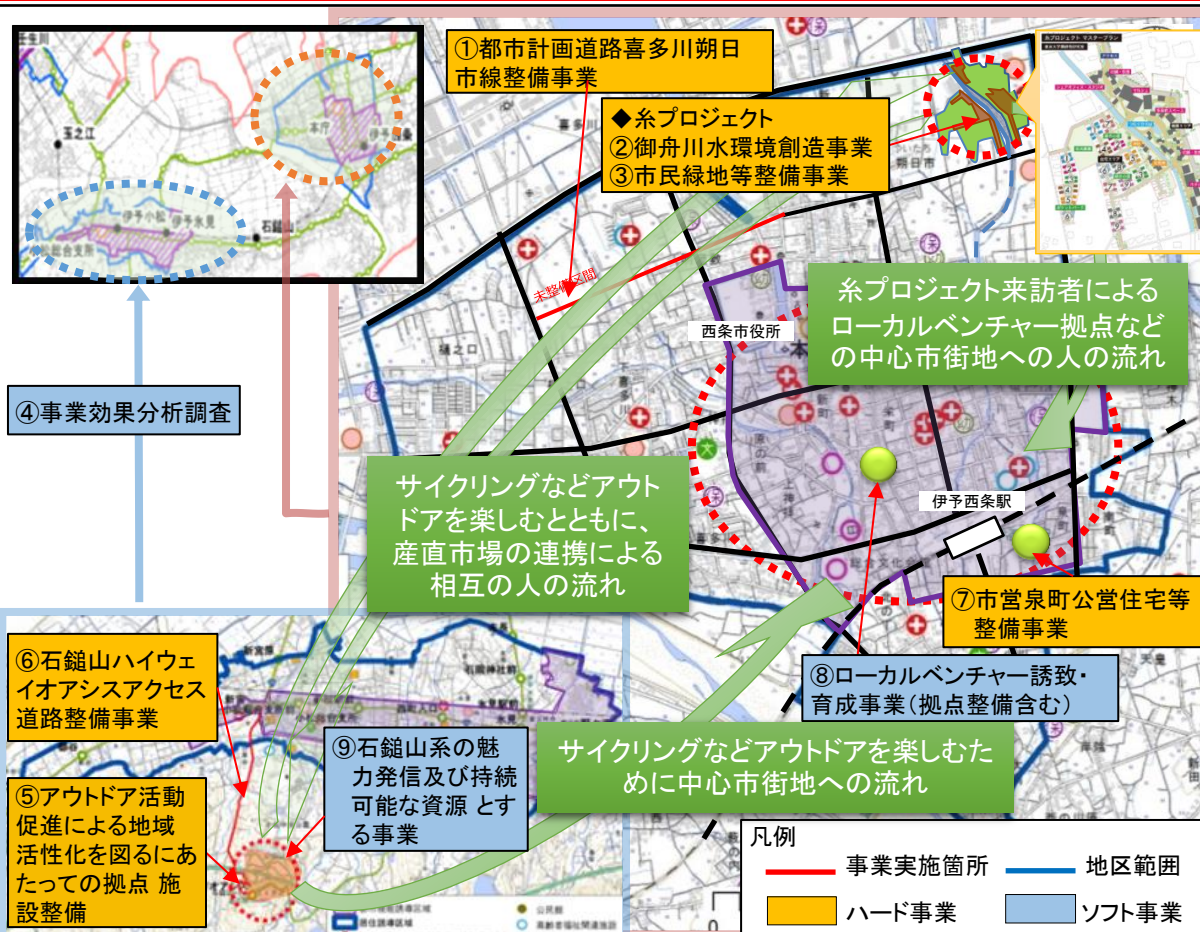
面積：500ha
当該地区への主な移動方法：
JR伊予西条駅より徒歩0分

3年間で実施する主な事業

- ①都市計画道路喜多川朔日市線整備事業 L=1030m
 - ②御舟川水環境創造事業 L=500m
 - ③市民緑地等整備事業 S=10,500㎡
- 総事業費：20.1億円
H30年度：10.1億円(内数)

事業効果

- 市内で新たに就職、就業した者の数
0人(H30)→300人(H32)
- 西条居住誘導区域内人口
24,026人(H29)→24,577人(H32)
- 西条商店街空き店舗率
39.1%(H28)→35.0%(H32)
- 石鎚山登山者数
57,494人(H28)→59,000人(H32)
- 観光入込客数
3,342,342人(H28)→
3,777,000人(H32)



実施事業

メイン関連事業 「糸プロジェクト」

- ・食と再生可能エネルギーで『100%自活』を目指す民間まちづくり
- ・「商業ゾーン」にはホテルやマルシェなど設置、「住宅ゾーン」は100戸の戸建住宅により構成

主なハード事業

- ①都市機能誘導区域への回遊性の向上を図る「道路整備」
- ②糸プロジェクトのコンセプトに沿った「親水空間整備」
- ③市民緑地認定制度を活用した「緑地整備」
- ⑤⑥石鎚山ハイウェイオアシスを活用したアウトドア活動促進「拠点施設」及び「アクセス道路整備」

主なソフト事業

- (地方創生推進交付金)
- ⑧起業型移住者による地域の課題解決を図る「ローカルベンチャー誘致・育成事業」
 - ⑨誘客及び安全対策等複数の政策課題に取り組む「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」